

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立肥前小学校									
1 前年度 評価結果の概要	・学力向上への取組 ・特別支援教育の充実 ・授業や家庭学習での1人1台端末の活用									
2 学校教育目標	ふるさとを愛し、心豊かにたくましく伸びていく肥前っ子の育成									
3 本年度の重点目標	① 心の教育の充実（一人一人を大切にできる仲間づくり） ② 学力向上（学習意欲を高め、生涯学習の基礎を培う） ③ 体験活動の充実（『本物に触れる体験』・『感動体験』）									
4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・授業内容の基礎基本の定着に向けた授業実践	○学力向上対策シートに基づき、学習内容の定着に向け、共通実践できた教師80%以上。	・校内研修等で情報を共有し、共通実践に生かしていく。 ・一人ひとりの学習状況をしっかり把握し、個に応じた支援に力を入れる。		・		・		・	・学力向上コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・「こころのひろば」や道徳の授業実践を重ね、子どもの姿容を見取るために道徳ノートを活用する。 ・どの学年も道徳に時間に「県版人権教材」を取り扱い、人権についての意識を高める。		・		・		・	・道徳教育推進教師 ・人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると解答した教員90%以上	・月末に生活アンケートを行い、早期発見につなげ、気づき等を共有する。 ・毎月の生活指導協議会で共通理解し、組織的に対応する。		・		・		・	・生徒指導主事
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学校生活のあらゆる場面で、児童の「がんばり」や「よさ」を見取り、その場で直接声掛けをしたり、児童みんなに紹介したりする。また、職員で共有する機会を設ける。 ・道徳や学活等の中でのキャリア教育の充実と、地域の人材バンクを活用した体験活動の充実を図る。		・		・		・	・特活部主任
	○お互いを認め合い、一人一人を大切にできる仲間づくりの充実	○「お互いの良いところを認め合うことができるようになった。」と思う児童80%以上	・構成的エンカウンターを行い、学級活動の充実を図る。 ・「ありがとうの木」の取り組みを年間を通して行い、お互いの良さを伝え認め合う。		・		・		・	・特活部主任
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童生徒85%以上	・年に2回の「お弁当の日」を活用して、元気に学校に登校できる健康的な体をつくるには食事をバランス良く取ることが大切であることを意識づける。 ・1月の全国学校給食週間では、健康給食委員会による給食や食事についての興味・関心が高まるような取り組みを行う。		・		・		・	・保健主事
	○健康に気を付けて、進んで体を動かすことのできる児童の育成。	○熱中症対策に留意して、縦割り活動やマラソンタイム、縄跳び月間の取り組みを含めて、休み時間等に体を動かした児童70%以上	・給食の時間の委員会の放送等で、委員会の児童による呼びかけを行い、天気の良い日は進んで体を動かす雰囲気を作成する ・夏場は、熱中症対策をとりながら、安全に外遊びをするように促す。		・		・		・	・保体部主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議における時間短縮と効率化を図る。 ・定時退勤日の実施と、タイムマネジメントを意識した働き方への取組を図る。 ・業務効率化につながるアイデアを出し合い、実践する。		・		・		・	・管理職
	○チームワークによる計画的な業務推進	○チームワークを意識して、業務に取り組めた職員の割合80%以上	・行事等への取組後の振り返りを重視し、改善点を明確にする。 ・各部内で連携して、提案内容を検討し業務の効率化を進める。		・		・		・	・管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○配慮を要する児童について、共通理解し、連携して支援に当たることができたと考える教員80%以上。	・配慮が必要な児童の支援方法について定期的に情報交換や共通理解の機会を設ける。 ・特別支援教育に関する研修会の実施。		・		・		・	・特別支援教育コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言	
○一人一台端末の活用	○タブレット端末の活用	○タブレット端末を使って学力向上に取り組んだ教員90%以上	・タブレット端末を使った授業を提案し、教育情報化推進リーダーとIoT支援員を中心とした授業改善を図る。 ・タブレット端末を使った授業を取り入れた個別最適な学びや協働的な学びを探る。		・		・		・	
○開かれた学校づくり	○学校統合後の保護者・地域との連携の充実	○地域の役に立った、ふるさとのよさを知った、感謝の気持ちを持ったという児童80%以上	・保護者・地域の方や外部講師を招聘した連携型の体験活動を通して、自己肯定感を高めたり、地域への愛着を深めたりできるようにする。		・		・		・	・管理職 ・教務主任
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育										
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・									